

# 海から始まる物語 IN 2014

## 2014年度 事業報告



### 目次

<b>1</b> 初めに .....	1	
<b>2</b> NPO法人 故郷の海を愛する会 の目的と事業と組織 .....	2	
<b>3</b> 事業名『海から始まる物語 IN 2014』の目的と計画 .....	3	
<b>4</b> 2014年度 活動報告		
① 練習船「鳥羽丸」で行く、造船所見学	7月25日実施 .....	4
② ヨットに乗って、風と語ろう	8月23日実施 .....	7
③ 潮騒の島、神島の自然と伊良湖水道	10月11日実施 .....	10
④ 海学祭に参加し、郷土の偉人近藤真琴の業績を学ぼう	11月 2日実施 .....	13
⑤ 水先案内人になって操船しよう	12月20日実施 .....	16
<b>5</b> 参加者募集 .....	20	
<b>6</b> 活動の新聞記事など .....	22	
<b>7</b> アンケートの結果 .....	24	
<b>8</b> その他の活動 .....	28	
<b>9</b> 収支報告 ご寄付一覧 .....	29	
<b>10</b> 2015年度活動計画 .....	30	
<b>11</b> 主催者の感想・反省など .....	31	

## 1.初めに

---

NPO法人故郷の海を愛する会は、三重県の小中学生にもっと船や海を知ってもらおうという活動を続けています。2009年に活動を開始した当初の任意団体「故郷の海を愛する会」の目的と何ら変わるところはありませんが、活動の輪を広げるために2013年度にNPO法人化し、正会員・賛助会員を募集し、2015年1月時点では正会員87名、2団体、賛助会員12名となっています。

おかげさまで今年度の活動に際しては、会費と個人・会社の寄付金に加え、日本中小型造船工業会・全日本船舶職員協会・日本海事センター・全日本海員組合・日本海事広報協会・鳥羽商船同窓会から資金の協力を得る事が出来ました。又、日本船主協会・日本海事広報協会・日本中小型造船工業会・JMU造船所・三重県水産研究所・伊勢湾フェリー・鳥羽商船高専などから配布資料の提供など協力して頂きました。JMU造船所・セイラビリティ伊勢・大湊町振興会・海上保安部・鳥羽ガイドボランティアの会・三重県水産研究所・鳥羽商船高専などには場所の提供・講演・案内などの活動協力をして頂きました。参加者募集の際にはポスター配布、活動紹介など、近隣市町・教育委員会、中部運輸局、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、NHK、伊勢新聞、中日新聞、朝日新聞、イオン明和店等に協力して頂きました。皆様のご理解・ご協力に感謝いたします。

NPO法人故郷の海を愛する会の今年度の募集対象は従来と同じで、三重県の中南勢地区の松阪・明和・多気・玉城・伊勢・鳥羽・志摩・南伊勢・度会の小中学生を募集対象としました。事業名「海から始まる物語 IN 2014」として、活動は5回行い以下の通りでした。

1回目	練習船「鳥羽丸」で行く、造船所見学	7月25日実施	47名参加
2回目	ヨットに乗って風と語ろう	8月23日実施	39名参加
3回目	潮騒の島、神島の自然と伊良湖水道	10月11日実施	42名参加
4回目	海学祭に参加し郷土の偉人近藤真琴を学ぼう	11月 2日実施	24名参加
5回目	水先案内人になって操船しよう	12月20日実施	33名参加

1回目の活動では伊勢湾を航海する船や赤潮など故郷の海を体験しました。JMU造船所では大型船の建造工程を見学し、建造中の鉦石船の大きさを体感しました。練習船鳥羽丸の航海途中での海上保安庁の救難ヘリの飛来はサプライズでした。

2回目はセイラビリティ伊勢においてヨット体験や大湊の造船の歴史を学びました。自然の風で走るヨットに子供たちは大興奮でした。

3回目は鳥羽から高速艇で神島に向かい、神島灯台・伊良湖水道を見学し、行き交う船を見ました。神島を歩いて一周し、海を越えて渡りをする蝶アサギマダラを見るなど、自然観察もしました。

4回目は鳥羽商船高専の校祖である近藤真琴を学びました。子供達の写真コンテストもしました。

5回目は商船学校で船の事、海の事を学びました。赤潮を食べるアサリの実験にびっくりでした。子供達がこれらの活動を通して船や海の重要性を知り、何かロマンを感じてくれたでしょう。

次頁以下に活動の様子など報告いたします。

## 2.NPO法人 故郷の海を愛する会 の目的と事業と組織

**目的** 定款で以下のように定めています。

第3条 この法人は、主に三重県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し『希望と憧れ』の気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もってこどもたちの健全な育成に寄与することを目的とする。

**事業** 定款で以下のように定めています。

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、安全、安心を確保のうえ、次の事業を行う。

特定非営利活動に係る事業

- ① 故郷の海を愛する心を育てる事業
- ② 海や船に親しむ活動の推進事業
- ③ 世界に繋がる海で活躍し世界に雄飛する気持ちを醸成する事業
- ④ 郷土の誇る明治の教育家「近藤真琴翁」の偉業を多くの人に知ってもらう事業
- ⑤ その他第3条の目的を達成するために必要な事業

その他、定款を含む団体情報は、カンパブログを参照ください。

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442#basicinfo>

**組織** 役員名簿

役職名称	氏名	常勤/非常勤	職業	報酬の有無
理事(会長)	古川 昭一	非常勤	無職	無
理事(副会長)	川口 心也	非常勤	無職	無
理事(副会長)	金田 護	非常勤	船舶会社員	無
理事(会計)	三井 建次	非常勤	無職	無
理事	溝井 昇	非常勤	団体職員	無
理事	江崎 隆夫	非常勤	会社社長	無
理事	川原 伸次	非常勤	無職	無
理事	山口 伸輔	非常勤	会社社長	無
理事	畑 辰幸	非常勤	水先案内人	無
理事	西山 明	非常勤	無職	無
監事	武部 二三男	非常勤	無職	無

**会員数**

2015年1月時点での正会員数は個人87名と2団体。賛助会員数は12名となっています。

### 3.事業名『海から始まる物語 IN 2014』の目的と計画

---

**目的** イベントを通じて、子供たちが世界につながる船や海に親しみ、「希望と憧れ」の気持ちを醸成させること。

**計画** 年5回のイベントを計画し、国立鳥羽商船高等専門学校、近隣市町自治体及び教育委員会、更に中部運輸局の後援を得て参加者募集を行う。鳥羽商船高専の練習船「鳥羽丸」学校施設の利用等全面的な協力、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、鳥羽商船同窓会の後援を得て事業を実施してゆく。日本海事センター、全日本海員組合、全日本船舶職員協会、日本中小型造船工業会、日本海事広報協会の助成を得て事業を実施する。

当初計画は以下の通り。

#### 第1回イベント 練習船「鳥羽丸」で行く造船所見学

鳥羽商船練習船「鳥羽丸」に乗船し、伊勢湾航海中は操船体験・船の設備、構造、機関等のお話・ロープワーク、等の体験学習。津市JMU造船所の見学。募集人員50名+ボランティア。

■ 場所/伊勢湾及び津市。過去5回実施経験あり。(活動協力:鳥羽商船高専並びにJMU)

#### 第2回イベント ヨットに乗って風と語ろう

伊勢市大湊町ゴーリキマリビレッジ内、セイラビリティ伊勢の協力と指導を得てアクセスダイニング(6艇)でヨット操船体験を行い海の魅力を知る。セイラビリティ伊勢はヨット指導に豊富な経験がある。募集人員40名+ボランティア。

■ 場所/伊勢市大湊港内。(活動協力:セイラビリティ伊勢)

#### 第3回イベント 潮騒の孤島、神島の自然と伊良湖水道

鳥羽佐田浜港より連絡船で神島に渡り、ボランティアガイドによる神島の自然・歴史・文学について学び観察する。神島灯台・信号所で海上保安庁OBの説明と伊良湖水道を望み船の安全航行について学ぶ。募集人員50名+ボランティア。

■ 場所/鳥羽市 神島 (活動協力:鳥羽ガイドボランティアの会、鳥羽海上保安部)

#### 第4回イベント 海学祭に参加し郷土の偉人近藤真琴の業績を学ぼう

国立鳥羽商船高等専門学校の海学祭(文化祭)に参加し、第1・2・3回イベントに参加した子供たちの写真展を行う。同校の校祖近藤真琴の業績について学ぶ。募集人員50名+ボランティア。

■ 場所/国立鳥羽商船高等専門学校、100周年記念館 (活動協力:鳥羽商船高専)

#### 第5回イベント 水先案内人になって操船しよう

国立鳥羽商船高等専門学校の校内で、現役水先案内人の講演を聞き、施設を借りて操船シュミレーターで模擬操船体験をする。他にコンピューター・プログラム・ロボットなどの講演を聞き・ロボコン大会出場ロボットの見学、大型機関の発停を体験する。募集人員50名+ボランティア。

■ 場所/国立鳥羽商船高等専門学校校内 (活動協力:鳥羽商船高専)

## 4. 2014年度 活動報告

### 活動その① 練習船「鳥羽丸」で行く、造船所見学

7月25日 実施

#### 参加者の募集

主に三重県の中南勢地区の小中学生を対象に募集活動をしています。従来の松阪市、伊勢市、鳥羽市、志摩市、明和町、玉城町、南伊勢町に多気町、度会町も対象に追加しました。対象の中学校は約50校、生徒は約12000人。小学校は約100校、5,6年生は約8000人です。従来通り、各市町・教育委員会の後援許可を取り、7月1日には活動その②も含んだ募集ポスター・リーフレットの配布ができるよう関係各市町の小中学校にお願いしました。更に、中部運輸局にも後援をお願いし、新聞社・テレビ局への活動紹介をして頂きました。各新聞に参加者募集が掲載され、NHKテレビでも活動予定が紹介されました。又、各市町の広報誌に募集記事を掲載してもらいました。別途、中南勢地区最大のショッピングモール「イオン明和店」で活動紹介と募集案内を7月5日(土曜日)に行いました。これらの募集活動の結果、今年は以前より順調に応募者がありました。

#### 子供たちの参加者

募集は50名でした。応募は50名ありましたが、最終的に47名が参加となりました。今年は松阪市からの応募が17名もありました。新たに多気町・度会町を募集の範囲に加えましたが、今回の活動への応募はありませんでした。小学生が35名、中学生が12名の参加となりました。中学生の参加が昨年に比べると増えました。男女別では男子の参加が多くなりました。

参加者	伊勢市		鳥羽市		志摩市		南伊勢町		松阪市		明和町		玉城町		多気町		度会町		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学2～4年生							2		3	3									5	3
小学5年生	5		2	1	2				2		3								14	1
小学6年生	2		2	1			2		4	1									10	2
中学1年生								2	4										4	2
中学2年生											2								0	2
中学3年生							1	1			2								3	1
合計	7	0	4	2	2	0	5	3	13	4	5	2	0	0	0	0	0	0	36	11

#### 主催者側 参加者

正会員などが19名参加しました。この中には1名の看護師を含んでいます。参加者の保護者も6名ボランティアで参加となりました。鳥羽商船高専からは鳥羽丸乗員9名とロープワークなどの指導に5名が別途参加しています。又、活動の様子を見るために鳥羽商船高専の校長と全日本海員組合から1名が参加されました。

**当日の活動**

## おはようございます 今日の予定

NPO法人 故郷の海を愛する会

2014/7/25

● 班の確認は出来ましたか？ 班長さんよろしくお願いします！  
 ● 班長さんを中心にして、仲よく・楽しく・元気に楽しみましょう！  
 ● 困ったことがあったら、担当のボランティアに相談しましょう。

**8:30 受付開始**

**8:50 集合・朝のあいさつ** NPO法人 故郷の海を愛する会 会長 古川 昭一  
 ごあいさつ 鳥羽商船高等専門学校 校長 藤田 稔彦  
 (受付後、班別に集まり集合 あいさつ後⇒桟橋に徒歩で移動・乗船)

**9:15 出航** (時間厳守をお願いします)  
 伊勢湾を北上 デッキなどから海岸や街並み山並みをご覧ください。  
 (船内体験: 船橋や制御室で話を聞く・デッキでロープワークなど)  
 ※班別で行動します。開始時間は船内放送でお知らせします。

**11:30 JMU造船 津事業所** ドック横の浮き桟橋に到着。  
**下船** バスにて⇒造船所内本部ビル会議室に移動。  
 会議室にて昼食(お弁当配布)をすませて頂きます。

**13:00 会議室内で、JMU造船所の説明・案内VTRを観る。**  
 ヘルメット配布 着用後に造船所内見学(JMUの案内)  
 \* 造船所内では、バスを使いながら移動します。  
 \* 1969年に開設され 敷地面積は、約737,800㎡  
 \* 長さが500メートルもあるドックが2本あります。  
 \* 700t吊り上げられるクレーンもあるそうです。



**14:30 鳥羽丸に乗船**

**14:45 出航** 鳥羽に向かう  
(船内体験、話を聞くなど)

**16:45 鳥羽商船の桟橋に到着予定。**  
 アンケートの提出を忘れないで!

**17:00 解散のあいさつ** (気をつけてお帰り下さい)

**船内体験**

※班別で行動します。

- 船橋で「航海計器など」
- 制御室で「機械制御計器」
- プールデッキでのロープワークなど

**熱中症に気をつけて! 水分補給はお早めに!!**

今回は鳥羽丸の船長が交代したこともあり、少し予定を早めました。子供たちは集合後、鳥羽丸に乗船し、9:15には鳥羽市の池ノ浦にある鳥羽商船高専の岸壁から出港しました。天候に恵まれ、順調に伊勢湾の航海を続け、津市のJMU造船所に昼前に到着しました。この間、参加者は4グループに分かれ、船内を見学・体験しました。船橋の見学、機関制御室の見学、ロープワークの体験、自由時間となりました。造船所ではまず、昼食をとり、その後、ドックの担当者によりビデオによるドックの歴史、製品などの説明を受け、続いて、バス2台に分乗し、ドック構内で船の建造工程を全て見学しました。大型バラ積船を建造しているドックのドックゲートで下車し、まじかに大きな船を見たときは子供たち全員がその大きさに驚いていたようです。帰りの航海では、往きの航海と同様の船内見学と体験を行いました。途中、海上保安庁の救難ヘリコプターが本船上空に飛来し、何度も船の上を旋回し、子供たちを楽しませてくれました。救難ヘリが飛来する前に、元海上保安官に救難ヘリの活動の概要を説明してもらいました。これらの活動を通じて子供たちが世界につながる船や海を感じてくれたことと思います。

活動記録写真



船橋で説明を受けました



機関制御室で説明を受けました



ロープワークも体験しました



海上保安庁の救難ヘリ飛来



バス2台に分乗、造船所見学



ドックゲートで見学

## 活動その② ヨットに乗って風と語ろう

8月23日 実施

### 参加者の募集

募集に関しては活動その①の記述を参照ください。  
 ポスター・リーフレットは活動その①の時にその②も併記して募集を行いました。各市町の広報誌についてはその②について別途募集記事を掲載してもらいました。

### 子供たちの参加者

募集は40名でした。応募は40名を超えましたが、最終的に39名が参加となりました。  
 今回もその①と同様に松阪市からの応募が多くあり、合計で18名となりました。募集範囲について今年から新たに多気町・度会町を加えましたが、今回、度会町から3名の応募がありました。  
 小学生35名、中学生4名の参加となりました。男女別では男子25名、女子14名となりました。

参加者	伊勢市		鳥羽市		志摩市		南伊勢町		松阪市		明和町		玉城町		多気町		度会町		鈴鹿市		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
小学1～4年生	1	1	1	1			2		1	5							1				5	8	
小学5年生			1						5	2	3	1										9	3
小学6年生	1				1				3	2						2			1		7	3	
中学1年生			2								1											3	0
中学2年生																						0	0
中学3年生					1																	1	0
合計	2	1	4	1	2	0	2	0	9	9	4	1	0	0	0	0	2	1	0	1	25	14	

### 主催者側 参加者

主催者側として正会員16名が参加しました。加えて、会場・設備提供とヨット指導でお世話になったセイラビリティ伊勢の方々9名、大湊の語り部1名、看護師1名の参加がありました。  
 参加した子供たちの保護者等も8名ボランティアで参加となりました。

班別	9		10		11		12		13		14		15		16		17	
	9:00	9:40	10:30	11:20	12:10	13:00	14:00	15:00	16:20									
AB	受付 班分け  挨拶 注意	ヨット①	大湊の歴史	昼食①	ヨット講義	ヨット②	結果	レース										
CD		大湊の歴史	ヨット①	ヨット講義	昼食①		ヨット②	結果	レース									
EF		大湊の歴史	ヨット講義	ヨット①	昼食①		結果	ヨット②	レース									
GH		ヨット講義	大湊の歴史	昼食①	ヨット①		結果	ヨット②	レース									解散 16:30



## 活動予定

- 08:30 受付開始
- 09:00 集合 受付後、各班毎に集合し待機する。  
 挨拶 NPO法人 故郷の海を愛する会 会長 古川 昭一  
 セイラビリティ伊勢 会長 強力 修  
 活動に際しての注意事項など 三井 さん
- 09:20 ヨットの説明 景山 さん  
 全員で乗艇するアクセスディンギーの前で説明を受ける。
- 09:40～ 各班毎の活動となります。
- ヨット体験① **各50分** アクセスディンギーで体験します。  
 ヨット講義 **各50分** 何故風に向かって走るか? 倒れないか?  
 大湊の歴史 **各50分** 大湊の歴史、造船の歴史を学びます。  
 昼食 **各50分** カレーライス、やきそば  
 結索体験 **各30分** 実用的で簡単なロープの結び方を体験。  
 ヨット体験② **各30分** 出来れば子供たちだけで  
 \*ヨット体験、午前中はインストラクターと子供1名で乗艇し、体験します。
- 15:00～ 子供たちだけでレースを行います。  
 AB班、CD班、EF班、GH班 4レースとなります。
- 16:20～ 表彰式と解散式 終了後、解散となります。

### 注意事項:

- ・班毎の活動となります。班長の指示を聞き、単独行動はとらないようにして下さい。
- ・ヨット乗艇中(ポンツーン上でも)ライフジャケットを正しく装着して下さい。
- ・暑さの中の活動なので、熱中症に注意し、帽子をかぶり、水分補給に努めてください。
- ・トイレは早め早めで済ますようにして下さい。特に乗艇中は出来ないの注意下さい。

セイラビリティ伊勢の協力を得て、伊勢市の大湊にあるゴーリキマリンビレッジでアクセスディンギーを使って子供たちはヨット体験をしました。

ヨット乗艇前には実艇の前でその構造、役割などの説明を受けました。興味深く説明を聞いていました。続いて、ライフジャケットを装着した会員が警戒艇から水中に転落、ライフジャケットが自動的に膨らむ様子を興味深く見ました。自分の目で見て体験する、これが大切ですね。

待機時間中には「ヨットは何故風に向かって進むか?」などヨット講義を受け、ロープの結び方も学びました。更に大湊はかつて造船で栄えた町であり、歴史のある街であることを大湊未来づくり委員会の会長に話してもらいました。

ヨット体験は子供たちを4グループに分け、5艇のヨットにはセイラビリティ伊勢のインストラクターと子供1名がそれぞれ乗艇し、指導を受けながら、体験しました。

昼過ぎからあいにくの雨となり、当初計画では最後に子供たちだけでヨットレースをする予定でしたが、残念ながら中止となりました。

活動記録写真



乗艇前のヨットの説明



ライフジャケットのテスト



午前中は子供一名とインストラクターでヨット体験



午後は子供たちだけでヨット体験



大湊の造船などの歴史の話



ヨットの講義



ロープの結び方の体験



集合写真

## 活動その③ 潮騒の島、神島の自然と伊良湖水道

### 参加者の募集

10月11日 実施

募集対象に関しては先の活動その①の記述を参照ください。

募集のポスター・リーフレットの配布等はその③とその④を併せ、同様に行いました。各市町の広報誌・新聞等に活動募集記事の掲載をして頂きました。別途、中南勢地区最大のショッピングモール「イオン明和店」で活動紹介と募集案内を10月5日(日曜日)に行いました。

応募状況について、活動の日は10月の三連休の初めの日で、あちこちに催しや運動会などがあるのは承知していましたが、予想以上に応募状況は芳しくありませんでした。

### 子供たちの参加者

募集は50名でした。応募は44名でしたが、当日のキャンセルがあり42名が参加となりました。今回も松阪市からの応募が多くあり、合計で18名となりました。津から4名の参加がありました。小学生が39名、中学生が3名の参加となりました。男女別では男子が30名、女子が12名となりました。明和町、玉城町、多気町、度会町からの参加はありませんでした。

参加者	伊勢市		鳥羽市		志摩市		南伊勢町		松阪市		明和町		玉城町		多気町		度会町		鈴鹿市		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学2～4年生	5		1	1		1	1		4	5									1		12	7
小学5年生	1	1			2				3	1									1		7	2
小学6年生	1				1	1	2		3	2									1		8	3
中学1年生																					0	0
中学2年生																			1		1	0
中学3年生					2																2	0
合計	7	1	1	1	5	2	3	0	10	8	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	30	12

### 保護者の参加者

今回、神島の自然を子供と一緒に楽しんでもらいたかったので、保護者も参加募集しました。当日2名のキャンセルがありましたが、16名の参加を得ました。

### 主催者側 参加者

主催者側として正会員18名が参加しました。共催の日本海事広報協会から2名参加しました。さらに、一般ボランティアとして5名、鳥羽ガイドボランティアが3名、鳥羽海上保安部が2名、看護師1名の参加がありました。

当日の活動

「海から始まる物語 IN 2014」  
 活動その③ 潮騒の島、神島の自然と伊良湖水道 2014/10/11

**お楽しみごほうびます 今日の内容**

08:30 受付開始	12:10 出発、八代神社～神島灯台へアサギマダラ探す
09:00 集合 受付後、各班別に集合し待機する。 挨拶 紹介 活動の注意事項など	12:50 神島灯台見学 伊良湖水道遠望 ～13:20 海上保安部職員により灯台と伊良湖水道の案内。
09:30 高速艇に乗船	13:20～ アサギマダラをみながら監視の哨へ、
09:40 神島向け出港 往路、ガイドボランティアによる鳥羽湾神島の案内。	13:35 監視の哨 映画潮騒のロケ地
10:15頃 神島到着	14:00 カルスト地形。学校でトイレ借用。
10:30 八代神社宝物殿見学、氏子総代が立会。 ～11:20 多くの神鏡等あり、狭いので順次交代で。	14:10～ 自然を楽しみながら港へ 途中、「あらめ」「いせえび」「ひじき」等の話。
11:30 昼食 開発総合センターで、お茶付	14:40 港に着着
～12:10 (山海荘特製の神島弁当)	14:50 高速艇に乗船
	15:00 高速艇 神島出港 帰路、海上保安部の職員が 海上保安部の役割、救命胴衣の説明をしてくれます。
	15:35頃 佐田浜到着 到着後、終わりの挨拶。
	16:00頃 解散

台風19号の接近でやきもきしながらでしたが、何とか予定通り実施出来ました。子供達は6班に分け、それぞれに主催者側として会員・ボランティアを2～3名、班の責任者として配置しました。

開催の挨拶の後、高速艇で神島に向かいました。殆どの子供達は船酔いを感じる時間もないほどで、約20分の航海を楽しみました。

神島到着後、八代神社の宝物殿で宝物を拝観しました。残念ながら「鋏形」のみの展示で、64枚あると言われている神鏡や機織具などは貸し出し中に見る事が出来ませんでした。

昼食場所で、鳥羽ガイドボランティアによる「神島の神宝」や「渡りをする蝶アサギマダラ」などの話を、鳥羽海上保安部による「神島灯台や伊良湖水道」の話をしてもらいました。

昼食後、長い階段を上り、八代神社経由で神島灯台へ。班毎に灯台に登り、伊良湖水道を見ながら海上保安官から説明を受け、多くの船が水道を通過し、世界と繋がっている事を感じたでしょう。その後、神島を一周する遊歩道を歩きましたが、「アサギマダラ」をあちこちで見かけ、子供達は

渡りの途中、神島で羽根を休ませている蝶に大喜びでした。遠く南の方に飛んで行きます。映画「潮騒」の名場面となった監的哨跡や、カルスト地形、その他、自然観察をしながら、全員が遅れる事もなく神島一周をしました。

帰りの船の中では海上保安官による救命胴衣について説明がありました。

### 活動記録写真



鳥羽佐田浜港で高速艇に乗船 一路、神島へ



長い階段を上ります  
八代神社の神宝は出張中 残念でした。



鳥羽海上保安部の方による灯台と伊良湖水道の説明



渡りをする「あさぎまだら」



カルスト地形の説明を鳥羽ガイドボランティア

## 活動その④ 海学祭に参加し、郷土の偉人近藤真琴の業績を学ぼう 11月2日 実施

### 参加者の募集

募集対象に関しては先の活動その①の記述を参照ください。

募集のポスター・リーフレットの配布等はその③とその④を併せ、同様に行いました。各市町の広報誌・新聞等に活動募集記事の掲載をして頂きました。別途、中南勢地区最大のショッピングモール「イオン明和店」で活動紹介と募集案内を10月5日(日曜日)に行いました。

応募状況について、近藤真琴の名前が地元である三重県の中南勢地区で一般に知られていないせいか、芳しくありませんでした。

### 子供たちの参加者

募集は50名でした。応募は32名でしたが、当日のキャンセルがあり24名が参加となりました。小学生が17名、中学生が7名の参加となりました。男女別では男子が14名、女子が10名となりました。鳥羽市、玉城町、多気町、度会町からの参加はありませんでした。

参加者	伊勢市		鳥羽市		志摩市		南伊勢町		松阪市		明和町		玉城町		多気町		度会町		津市		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学1～4年生	4						2		1	3											7	3
小学5年生						2			1												1	2
小学6年生	1								2	1											3	1
中学1年生									1												0	1
中学2年生																					0	0
中学3年生					2			3			1										3	3
合計	5	0	0	0	2	2	2	4	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	10

### 保護者の参加者

今回、保護者も10名参加しました。その中に海洋少年団の団長以下5名も含まれます。

### 主催者側 参加者

主催者側として正会員13名が参加しました。

さらに、講師として鳥羽商船高専の先生1名の参加がありました。

## 当日の活動

**海から始まる物語 IN 2014** 2014年11月2日実施

イベント ④ **海学祭に参加し 郷土の偉人近藤真琴の業績を学ぼう**

当日の予定 **イベント参加者の「海を愛する写真コンテスト」開催**

09:30 受付開始 記念館内

10:00 集合時刻 記念館内2階

10:10 会長挨拶

10:20 Aグループ (2グループで)  
「近藤真琴」の話 講師:水野先生 2階会議室  
「近藤真琴記念碑」「記念館内部資料館」等 現場見学で

11:00 Bグループに 交代

11:40 近藤真琴記念碑前で集合写真。

12:00 昼休み \*食券を配布 500円分 \*自由に模擬店で!  
お茶を別途1本ずつ配布。

13:00 学科紹介へ。商船学科、制御情報学科、電子機械学科

14:00 ビンゴ大会 ビンゴ券、一枚100円、子供に配布。

14:40 写真コンテスト 結果発表 賞品授与

15:00 終わりの挨拶 解散。 その後、海学祭、自由見学




前日は大雨でしたが、当日は雨が上がり、鳥羽商船高専の海学祭(文化祭)が開催されました。その中での故郷の海を愛する会の活動となりました。

活動はA・Bグループに分ける計画でしたが、応募32名のところ、悪天候が予想されたせい、24名の参加となったので、Aグループのみとして活動しました。海洋少年団の団長を含む保護者10名も参加してもらいました。

10時から古川会長による開催の挨拶の後、全員で鳥羽商船高専の水野先生から鳥羽商船高専の校祖「近藤真琴」の話を1時間ほどしてもらいました。

その後、近藤真琴記念碑に移動し、全員で集合写真を撮影しました。勝海舟揮毫による近藤真琴記念碑では故郷の海を愛する会会員によりその碑の由来を説明しました。昼前に参加者に食事券と飲み物を配布、海学祭の学生たちの模擬店で各自好みの食べ物を購入し、昼食となりました。13時から4班に分かれ会員の案内のもと、商船学校の学科紹介を見学、体験しました。操船体験、ロボット操作体験など楽しみました。

14時から海学祭の「ビンゴゲーム」に参加、子供達は渡されたビンゴ券で、しばし楽しみました。残念ながら「ダブルビンゴ!」とはなりませんでしたが。

14:40分から子供達の写真コンテストの結果発表がありました。今年の活動中に子供達が撮った写真を送ってもらったのですが、16名の子供が応募、その中から故郷の海を愛する会の5名の会員による審査の結果、7件の写真が選ばれ、賞状などが渡されました。

15時に予定通り、解散となりました。子供達はその後、それぞれが海学祭を楽しんでいました。

活動記録写真



会長挨拶



水野先生による「近藤真琴」の話



活動に参加した子供達の写真コンテスト



お昼は何にしようかなー



小型操船シュミレータ体験



おそばがうまく運べるかなー



## 活動その⑤ 水先案内人になって操船しよう

12月20日 実施

## 参加者の募集

今回の活動への参加者募集は今年と昨年の活動参加者約200名に直接招待メールを送付して行いました。従来この時期の活動は今回と同様に参加者への招待メールを送付して行っていました。その結果として今までは50名程度の参加者がありましたが、今回は大幅減少となりました。

## 子供たちの参加者

募集は50名でした。応募は37名でしたが、当日のキャンセルがあり33名が参加となりました。今回は伊勢市から10名の応募があり、松阪市からは7名の参加がありました。名古屋市からの参加が2名ありましたが、明和町、玉城町、多気町、度会町からの参加はありませんでした。小学生が28名、中学生が5名の参加となりました。男女別では男子が19名、女子が14名となりました。

参加者	伊勢市		鳥羽市		志摩市		南伊勢町		松阪市		明和町		玉城町		多気町		度会町		他		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
小学1～4年生	5		2				2	1		4									1		10	5	
小学5年生		3				2															0	5	
小学6年生	2			1			2		1	2											5	3	
中学1年生					1															1	1	1	
中学2年生			1																		1	0	
中学3年生					2																2	0	
合計	7	3	3	1	3	2	4	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	19	14

## 主催者側 参加者

主催者側として会員13名が参加しました。ボランティアスタッフとして日本中小型造船工業会から1名、さらに、体験コーナーでの協力者として鳥羽商船高専から教師・学生21名が参加しました。講師は三重県水産研究所から1名、鳥羽商船高専から1名、水先案内人1名が参加しました。加えて南勢海洋少年団の団員5名、保護者等12名がボランティア参加しました。

## 活動予定

09:30	受付開始	記念館内		
10:00	集合時刻	視聴覚教室		
10:05	会長挨拶	視聴覚教室	日本中小型造船工業会	林さん 紹介
10:10		「大型船の案内人 パイロットの話」	水先案内人	畑 辰幸 氏
10:50		「カラオケとスポーツの楽しみ方」	鳥羽商船高専准教授	江崎 修央 氏
11:30	昼食タイム	潮騒会館	昼食後、ビンゴゲームを行う。	
12:35	集合写真	撮影	近藤真琴記念碑	参加者全員と各班毎で撮影。
12:50		「身近な海が変化している」	三重県水産研究所	水野 知巳 氏
			赤潮の原因、水質調査の話と二枚貝の海水浄化作用を見ます。	
13:35	チャレンジ体験コーナー	4班(A,B,C,D)に分かれて行動します。		
		航海科教室	内燃機関室	電子機械工学科教室
		制御情報工学科教室		
13:35～	A	B	C	D
14:00～	D	A	B	C
14:25～	C	D	A	B
14:50～	B	C	D	A
15:15	アンケート記入	視聴覚教室		
15:25	鳥羽商船高専	校長 挨拶		
15:30	終わりの挨拶	解散。		

子供達は鳥羽商船高専に集合、10時から会長挨拶の後、昼休みをはさみ3件の講演がありました。まず、現役の水先案内人がビデオを使って水先案内人の仕事の内容を説明しました。大型船に乗り込んで、船を安全に出入港させる様子に子供達は大いに興味を持ったようです。次に、鳥羽商船高専の先生によるアプリやロボットの話の話を聞きました。「PMカラオケ」は一人エグザイルも楽しめると聞いて、子供達は熱心に聞いていました。お昼休みの後、水産研究所の方により、水産研究所の仕事に関して説明がありました。実験として、赤潮の原因であるプランクトンを海水と一緒に2つのビンに入れ、片方にアサリを入れました。それから約2時間後、アサリを入れた方は海水が透明にきれいになっていました。子供達にはとっても印象的であったと思います。昼休みには食事の後、サンタクロースが現れて、子供達はビンゴゲームを楽しみました。体験コーナーでは子供達は4班に分かれ、4個所での体験となりました。

- ・操船シュミレーター体験…… 水先案内人の指示により子供達が舵を取り、船の仮想操船を体験。
- ・エンジン制御体験…………… エンジンの始動準備から始動・回転数調整などを子供達は体験。
- ・ロボット体験…………… 障害を乗り越えて行くロボット等の操作を体験。
- ・アプリ体験…………… 新しい砂遊び「すなケッチ」と一人エグザイルもできる「PMカラオケ」を体験。

体験コーナーの後、全員が視聴覚教室に集合し、藤田鳥羽商船高専学校長のお話を聞き、午後3時半に解散となりました。

活動記録写真



水先案内人の講演



江崎先生の受賞アプリの話など



サンタさん登場、楽しいビンゴゲーム開始



水産研究所の水野先生の話

水産研究所で何を研究し、実際何に役立っているか、説明がありました。クモのような形をした伊勢エビの幼生が脱皮して伊勢エビの形になる様子も見ました。赤潮の発生の様子や原因、魚への影響を学びました。アサリが赤潮をきれいにする実験も大変興味をもったようです。赤潮の原因のプランクトンを海水と一緒に2つのビンに入れ、一方にアサリを入れて、待つ事2時間、アサリを入れたビンはすっかり透明になりました。



その次は体験コーナーです。4班に分かれて行動しました。



操船シュミレータ体験



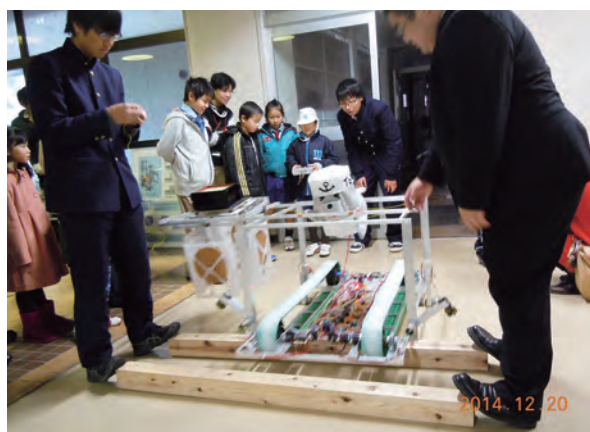
機関工場で エンジン発停体験



すなケッチ体験



PMカラオケ体験



障害を乗り越えて行くロボット体験



そば屋さんの出前体験

## 5. 参加者募集

### (1) ポスター配布など

従来は年に3回の活動で、夏休みに2回の活動を計画し、その募集にポスターやリーフレットを用意し、中南勢地区の小学生5・6年生と中学生に配布していました。残りの1回は年末に行い、募集はそれまでの参加者に招待状を送付していました。今年度は5回の活動でしたので、夏休みの活動であるその①と②は従来通りの配布対象としました。10月と11月の活動であるその③と④は一緒に募集活動をしました。経費削減のため、ポスターは従来通り対象小中学校に配布とし、リーフレットは希望者にのみ配布に変更しました。残りの1回は従来通りの募集活動としました。



①②活動募集 募集のためのポスター(左、A2)・リーフレット(右、A4)



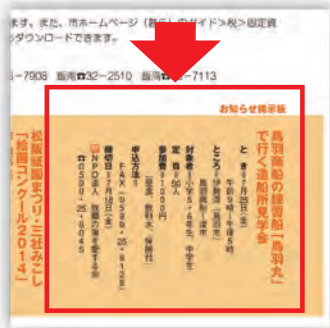
③④活動募集 上と同じ

⑤活動募集 A4

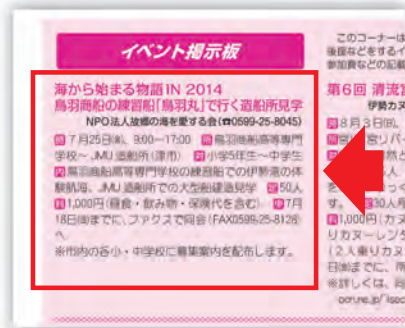
## (2) 広報紙へ募集掲載

各市町の広報誌に募集の記事を掲載してもらいました。

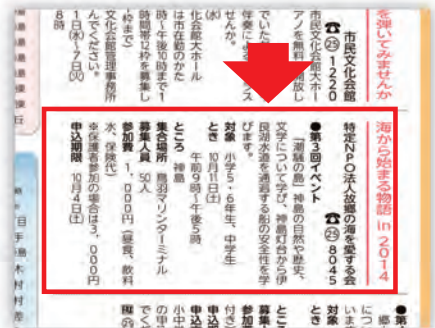
広報まつさか、広報いせ、広報とば、広報しま、広報わたらい、広報みなみいせなどです。



広報まつさか



広報いせ



広報とば

## (3) 新聞などの募集記事掲載


中部運輸局に活動募集記事をプレスリリースしてもらいました。伊勢新聞、中部日本新聞、朝日新聞に募集記事が掲載されました。NHKでも活動募集が紹介されました。



# 6.活動の新聞記事など

活動の様子が新聞などで紹介されました。

**小中生が鳥羽丸で航海**  
体験会で船の仕組み学ぶ



鳥羽市の鳥羽商船高等専門学校（以下、鳥羽商船高専）のOBらでつくるNPO法人「故郷の海を愛する会」は、地元を愛する会は、地元を愛する会は、地元を愛する会... (中略) ...

約一時間の航海で津市のJMU造船事業所に到着。大型船舶を造船する長さ約五百メートルの巨大ドックを見学した。

伊勢市の二見小五年

活動その①

**船に乗り造船所へ**  
小中学47人海の仕事を学ぶ

【鳥羽市】鳥羽市以南（全川組）の主催の小学五、六年生と中学生で、子どもは海や船に興味を持つてもらうべく、毎月の国立鳥羽商船高等専門学校（以下、鳥羽商船高専）の造船所「鳥羽丸」に、この日は、OBらボランティアで、津市農出興産町の造船所「ジャパマンユナイテッド」へ、造船所では、職員から施設内説明を受けた後、子どもは船内で船室などの見学やロープワークを体験しながら造船所を目指し、約一時間の航海で津市のJMU造船事業所に到着。大型船舶を造船する長さ約五百メートルの巨大ドックを見学した。

伊勢市の二見小五年

活動その①

**小中学生がヨット体験**  
伊勢の宮川支流「操作難しかった」



【伊勢・鳥羽】伊勢市大「アクセスディンギー」乗艇会が主催する「故郷の海を愛する会」(以下、愛する会)が、子どもに身近な海の体験として、宮川支流の宮川支流でヨット体験会を開催した。参加者は同乗艇が面する宮川支流で、スタッフと二人一組になってアクセスディンギーに乗艇し、風を受けたゼイルをロープやハンドルで操りながら水面を進んでいった。

伊勢市立山幸小四年の和田ほのかさん(10)は「ヨットを風の向きに合わせてるのが難しかった」と話していた。船乗り立派小六年の菊池心優さん(11)は「ヨットのハンドル操作が難しかった」と話していた。

小型ヨットを楽しむ参加者ら。伊勢市大乗艇会。

活動その②

**灯台見学や島内散策**  
鳥羽 小中学生ら神島ツアー

【鳥羽市】鳥羽市以南（全川組）の主催の小学五、六年生と中学生で、子どもは海や船に興味を持つてもらうべく、毎月の国立鳥羽商船高等専門学校（以下、鳥羽商船高専）の造船所「鳥羽丸」に、この日は、OBらボランティアで、津市農出興産町の造船所「ジャパマンユナイテッド」へ、造船所では、職員から施設内説明を受けた後、子どもは船内で船室などの見学やロープワークを体験しながら造船所を目指し、約一時間の航海で津市のJMU造船事業所に到着。大型船舶を造船する長さ約五百メートルの巨大ドックを見学した。

伊勢市の二見小五年

活動その③

**模擬操船など体験**  
小中学生 緊張感あった



【鳥羽市】鳥羽市以南（全川組）の主催の小学五、六年生と中学生で、子どもは海や船に興味を持つてもらうべく、毎月の国立鳥羽商船高等専門学校（以下、鳥羽商船高専）の造船所「鳥羽丸」に、この日は、OBらボランティアで、津市農出興産町の造船所「ジャパマンユナイテッド」へ、造船所では、職員から施設内説明を受けた後、子どもは船内で船室などの見学やロープワークを体験しながら造船所を目指し、約一時間の航海で津市のJMU造船事業所に到着。大型船舶を造船する長さ約五百メートルの巨大ドックを見学した。

伊勢市の二見小五年

活動その⑤

活動の様子が「船員しんぶん」(全日本海員組合発行)と「海上の友」(日本海事広報協会発行)に紹介されました。



三重県の南勢海洋少年団の団長以下多くの団員が今年の活動に参加してくれましたが、活動の様子が「南勢海洋少年団～夏の思い出～」として海洋少年団のHP に紹介されました。

南勢海洋少年団 ～夏の思い出～

7月27日はNPO法人「鳥羽の故郷の海を愛する会」主催の鳥羽商船高専の鳥羽丸に乗船し、伊勢湾を北上し津のJMU造船所の見学に参加しました。8班に分かれ、船内見学やロープワークをしながら参加した人たちとの交流を深めました。

また、8月23日には同法人主催のヨット体験を伊勢市の強力マリンビレッジで行いました。5班に分かれ「大湊の歴史」や「ヨット講義」とセイラビリティーとって体の不自由な人たち向けに開発され、絶対ひっくりかえらないヨットの帆走を楽しみました。雷雨でレースはできませんでしたが、初めてのヨット体験を楽しみました。

<http://www.jsf-japan.or.jp/news/>

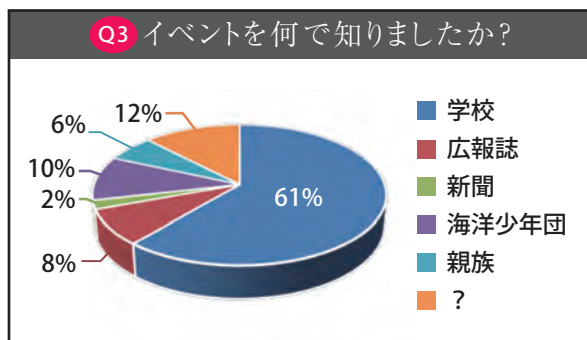


## 7. アンケートの結果

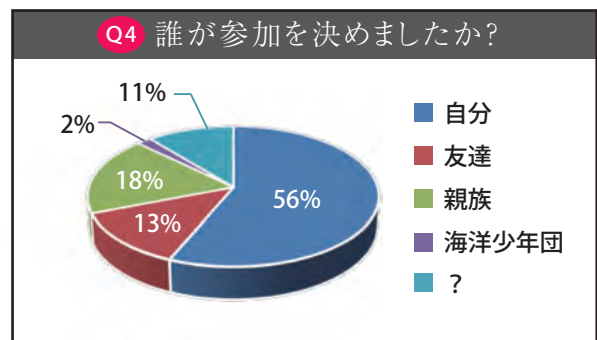
昨年からアンケートの中に主催者として知ってほしい事、覚えてほしい事を問いの中にいくつか加えています。これらは活動中に子供達にそれとなく話をするように関係者には頼んでおきました。

アンケートの **Q1** どこから参加しましたか？ **Q2** 学年と性別は？ に関しては別途活動報告に含まれているので、ここでは省略します。

### その①練習船「鳥羽丸」で行く、造船所見学



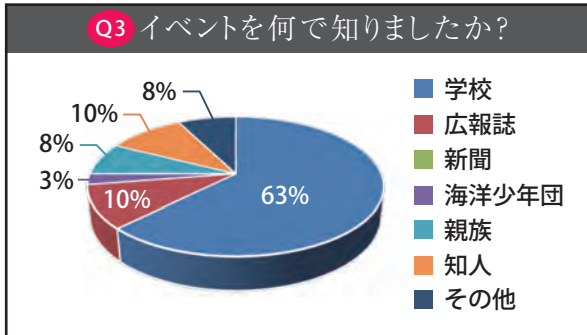
**A** 学校でイベントを知った子供が61%です。  
 広報誌・新聞で知った子供が5名いました。



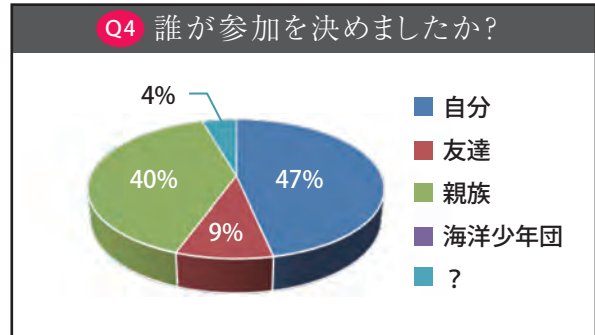
**A** 31名が自分で参加を決めました。  
 10名は親族が参加を決めました。

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>Q5</b> 朝何時に出発しましたか？     | <b>A</b> 集合時間は08:50、一番早い出発の人は6:00でした。                  |
| <b>Q6</b> 鳥羽丸で何が楽しかったですか？  | <b>A</b> ロープワークが10名で、船内見学が12名でした。                      |
| <b>Q7</b> 鳥羽丸でびっくりしたことは？   | <b>A</b> 燃料満タンで日本一周できる。予期せぬ広さ。揺れて酔った。                  |
| <b>Q8</b> 他の参加者と話をしましたか？   | <b>A</b> 「はい」が39名でした。                                  |
| <b>Q9</b> 鳥羽商船高専を知っていたか？   | <b>A</b> 「はい」が32名で、「いいえ」が15名でした。                       |
| <b>Q10</b> 鳥羽丸のスピードは何ノット？  | <b>A</b> 「10～13.8kts」の答えがほとんどでした。                      |
| <b>Q11</b> 鳥羽から津までの航走距離は？  | <b>A</b> 「18～25km」の答えがほとんどでした。                         |
| <b>Q12</b> 鳥羽から津までの燃料消費は？  | <b>A</b> 「500リットル」の答えが31名でした。                          |
| <b>Q13</b> 鳥羽丸の後進はどうしますか？  | <b>A</b> 正解の「プロペラピッチ変更」は17名でした。<br>「エンジンを逆転する」が10名でした。 |
| <b>Q14</b> 造船所で何が楽しかった？    | <b>A</b> 「昼食」22名、「バス見学」23名、「ビデオ」3名でした。                 |
| <b>Q15</b> 造船所で一番のびっくりは？   | <b>A</b> 船の大きさや造船所の広さ。                                 |
| <b>Q16</b> 建造中の船の最も厚い鉄板は？  | <b>A</b> 31名が「2cm」もしくは「3cm」と答えました。                     |
| <b>Q17</b> 年間に何隻建造しますか？    | <b>A</b> 35名が「10隻」と答えました。                              |
| <b>Q18</b> 建造中の船は何をどこから運ぶ？ | <b>A</b> 13名が「鉄鉱石を豪州から運ぶ」と答えました。                       |
| <b>Q19</b> 新しい友達ができましたか？   | <b>A</b> 「はい」30名 「いいえ」17名                              |
| <b>Q20</b> このような活動に参加したい？  | <b>A</b> 「はい」41名 「いいえ」6名                               |

その②ヨットに乗って風と語ろう



**A** イベントは学校で25名が知りました。  
 広報誌で4名が知りました。



**A** 参加は21名が自分、18名は親が決めました。

**Q5** 朝、何時に家を出ましたか？

**A** 平均は07:45分 一番早く出発したのが志摩市からで5時。

**Q6** 何が楽しかったですか？

**A** ヨット体験が36名、ロープワークが4名、講演が2名でした。

**Q7** びっくりした事、えーと思った事？

**A** 「エンジンを使わないで動く」6名、「雨・雷」5名。

「簡単に動かさせた」3名、「難しい。舵が効かない」3名。

**Q8** 他校の人やボランティアの人と話しましたか？

**A** 「はい」29名 「いいえ」9名

**Q9** セイラビリティ伊勢を知っていましたか？

**A** 「はい」2名 「いいえ」37名

**Q10** ヨットに乗って楽しかったですか？

**A** 「はい」39名 「いいえ」0名

又、乗ってみたいですか？

**A** 「はい」36名 「いいえ」3名

\*何が楽しかったですか？

**A** 多くが「操縦すること」と答えました。

**Q11** タッキングとはどのようにすること？

**A** 「船の方向転換をする事」と多くの参加者が答えました。

**Q12** センターボードは何の為にある？

**A** 「横に流されない」「倒れない」と多くが答えています。

**Q13** 帆走で何が難しい？

**A** 「風をつかむ事」「方向転換」「舵取り」等。

**Q14** ヨット講義で何を学んだ？

**A** 「部品の名前」「ヨットが進む仕組み」「操縦の仕方」等。

**Q15** ロープワーク、楽しかった？

**A** 「はい」32名 「いいえ」4名

**Q16** ロープワークで覚えた結び方？

**A** 「ボウラインノット」「ハーフピッチ」「クラブピッチ」等。

**Q17** 秀吉が大湊で作らせた「日本丸」の特徴は？

**A** 正解の「鉄板を張ってある」は7名でした。

**Q18** 大湊で昔は多くの船を造っていたのを知っていましたか？

**A** 「はい」5名でした。

**Q19** 新しい友達ができましたか？

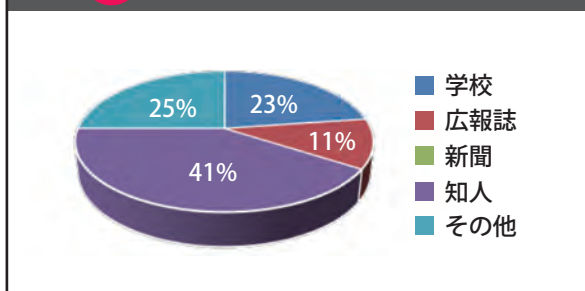
**A** 「はい」28名 「いいえ」11名

**Q20** このような活動に又、参加したいですか？

**A** 「はい」35名 「いいえ」4名

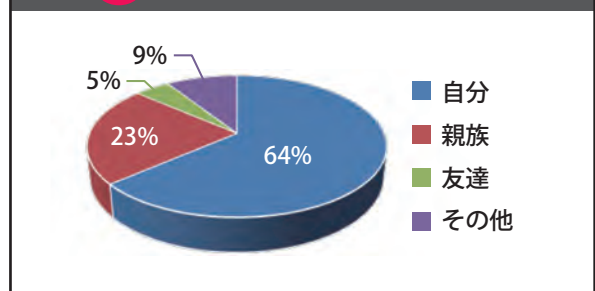
## その③潮騒の島、神島の自然と伊良湖水道

Q3 イベントを何で知りましたか？



A 今回は知人の紹介で知ったのが多くなりました。

Q4 誰が参加を決めましたか？



A 参加決定は多くが自分で決めています。

Q5 朝、何時に家を出ましたか？

A 平均は07:30分 最も早く家を出たのは06:00分松阪から

Q6 何が楽しかったですか？

A 「灯台に上った」10名、「自然、蝶、景色を眺める」8名、「高速艇」10名、「全体」4名、「ご飯」2名、「島一周」2名。

Q7 びっくりした事、えーと思った事？

A 「渡る蝶アサギマダラ」10名、「灯台の事」8名、「小中学校が一緒の場所」2名、「学校が家から遠い」2名、「船が速かった」4名、「坂が多い」4名。

Q8 他の参加者と話をしましたか？

A 「はい」33名「いいえ」9名

Q9 神島には人が何人住んでいますか？

A 400～500名と答えたのが14名でした。

映画「潮騒」を知っていましたか？

A 「はい」13名

電気や水はどのように送られる？

A 正解「電気が海底ケーブルで、水はパイプで」はゼロ。

Q10 八代神社の宝物殿に何があった？

A 正解「クワガタ」多くが正解。「神鏡」は出張中でした。

Q11 神島灯台の明かりの到達距離は？

A 正解「40～50km」11名「25km」12名は単位の間違いかと。

何年前から点灯していますか？

A 正解「約100年」13名

灯台の手入れはどこが行う？

A 正解「海上保安庁」12名

Q12 伊良湖水道の長さは？

A 正解「3900m」11名

安全航行のため誰を乗せる？

A 正解「水先案内人」2名「海上保安庁」4名、「神主」1名

水道では右側通行？左側通行？

A 正解「右側」12名「左側」7名

Q13 伊良湖水道の先に見えていたのは何県？

A 正解「愛知県」21名

Q14 アサギマダラを見ましたか？

A 全員が見ました。

何の花に止まっていたか？

A 「アザミ」11名 「あさぎ」3名 「木の枝」4名

渡りの途中ですが、これからどの方向に飛んでゆく？

A 「南」13名 「北」2名 「東」3名

渡りの距離は何KMでしょう？

A 「2000～3000km」9名

Q15 神島で見た野草の名前を書いてください。

A 「あざみ」3名 「あさぎ」1名。

Q16 カルスト地形はどのようにできる？

A 「石灰岩が浸食され」6名 問題が難しかったですね。

Q17 神島から伊良湖岬までの距離は？

A 正解「3.5km」4名 「5km」4名

Q18 昼食はおいしかったですか？

A 「はい」41名 「いいえ」1名

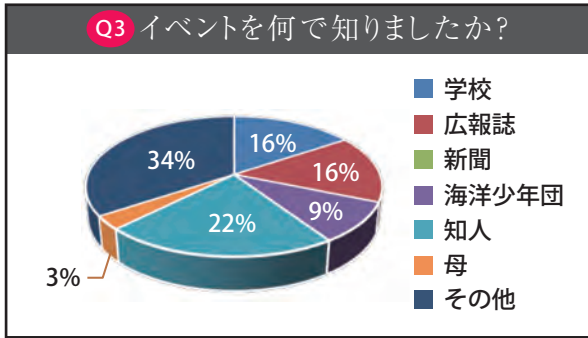
Q19 新しい友達ができましたか？

A 「はい」15名 「いいえ」23名

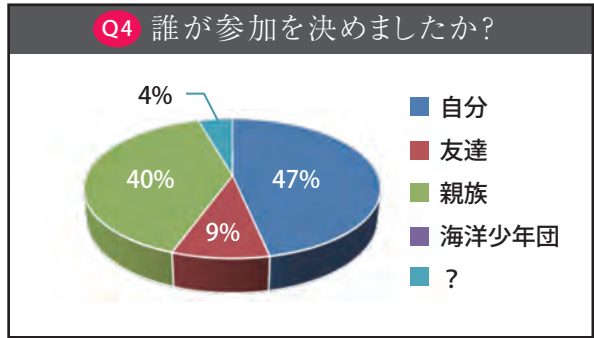
Q20 今後もこのような活動に参加したいですか？

A 「はい」39名 「いいえ」1名

その⑤水先案内人になって操船しよう



**A** 知人から活動を知った人が多くいました。



**A** 自分と親が決めた人がほとんどでした。

- Q5** 朝何時に家を出発しましたか？ **A** 平均は08:30分 最も早い人は名古屋からの05:00分
- Q6** 講演で何が楽しかったですか？ **A** 「カラオケとスポーツの楽しみ方」22名、「水先案内人」5名  
「身近な海が変化している」3名
- Q7** 体験コーナーで何が楽しかった？ **A** 「すなケッチ等」23名、「船の操船」6名、「機関室」2名
- Q8** びっくりした事、えーと思った事？ **A** 「アサリが赤潮をきれいにする」12名、「カラオケ」4名、  
「シュミレータが本格的」1名、「急なエンジンの音」2名、  
「水先案内人」1名、「ザザ降りの雨」4名
- Q9** 参加した人と話をしましたか？ **A** 「はい」18名 「いいえ」13名
- Q10** 鳥羽商船高専を知っていたか？ **A** 「はい」24名 「いいえ」8名
- Q11** 将来、入学したいですか？ **A** 「はい」14名 「いいえ」17名
- Q12** 入学するならどの学科？ **A** 「商船」8名、「電子機械」13名、「制御情報」6名
- Q13** 外国航路の船員になりたい？ **A** 「はい」4名 「いいえ」28名
- Q14** 水先案内人になりたい？ **A** 「はい」3名 「いいえ」29名
- Q15** 水先案内人の仕事は何？ **A** 「船の案内」「船長の代わりに発着させる」「船長に指示する」
- Q16** 赤潮を見たことがある？ **A** 「はい」16名 「いいえ」16名  
どこで見た？ **A** 「鳥羽丸航海中」6名、「地元の海」3名、「教科書等」4名
- Q17** 赤潮の原因は？ **A** 「大量のプランクトン」20名、「海の汚れ」4名
- Q18** 赤潮が発生すると魚はどうなる？ **A** 「死んでしまう」とほとんどが正解
- Q19** 新しい友達ができましたか？ **A** 「はい」18名 「いいえ」14名
- Q20** 今後もこのような活動に参加したい？ **A** 「はい」30名 「いいえ」2名

## 8.その他の活動

### ◎イオン明和店にて広報・募集活動など

7月5日09:00～17:00、三重県の中南勢地方では最大のショッピングモールイオン明和店で故郷の海を愛する会の広報活動を行いました。故郷の海を愛する会の紹介と活動への参加募集、加えて鳥羽商船学校の校祖「近藤真琴」の紹介を写真パネルなどを用意して実施しました。興味を示してくれた150名を越える子供たち・保護者に会員が丁寧に説明しました。



10月5日09:00～17:00、イオン明和店で故郷の海を愛する会の広報活動を行いました。会の紹介と活動の紹介です。10月11日に予定している「潮騒の島、神島の自然と伊良湖水道」に参加する子供も来てくれました。少しずつでも地域の人々に我々の会を知ってもらい、参加してもらおうと考えています。



# 9.収支報告

活動計算書				貸借対照表			
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで (当年度27年1月20日)				平成27年3月31日現在 (前年度27年1月20日)			
科目		金額 (単位:円)		科目		金額 (単位:円)	
I 経常収益				I 資産の部			
1 受取会費				現金預金			
正会員受取会費 (個人) (1,000円×87人分)		87,000		未収金		49,000	
正会員受取会費 (団体) (1,000円×2 団体)		2,000	89,000	流動資産合計			49,000
2 事業収益				2. 固定資産			
第1回事業収益 (1,000円×47人分)		47,000		(1) 有形固定資産			
第2回事業収益 (1,000円×39人分)		39,000		什器備品		0	
第3回事業収益 (1,000円×50人分)		76,000		有形固定資産計		0	
第4回事業収益 (1,000円×0人分)		0		(2) 無形固定資産			
第5回事業収益 (1,000円×0人分)		0	162,000	ソフトウェア		0	
3 受取寄付金				無形固定資産計			
受取寄付金 (個人)		394,000		(3) その他の資産			
受取寄付金 (団体)		100,000	494,000	その他の資産合計		0	
4 受取助成金等				固定資産合計		0	
受取民間助成金 (日本中小型造船工業会)		108,000		資産合計			49,000
受取民間助成金 (全日本船舶職員協会)		150,000					
受取民間助成金 (日本海事センター)		500,000					
受取民間補助金 (中部海事広報協会)		60,000					
受取民間補助金 (全日本海員組合)		400,000					
受取民間補助金 (鳥羽商船同窓会)		200,000					
受取民間補助金 (鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部)		58,600	1,473,600				
5 その他収益				II 負債の部			
受取利息		19		1. 流動負債			
雑収益		4,000	4,019	未払金		0	
経常収益合計			2,222,619	前受会費		49,000	
				前受寄付金		0	
				流動負債合計			49,000
II 経常費用				2. 固定負債			
1 事業費				固定負債合計			
(1) 人件費		0	0	負債合計			
(2) その他の経費				III 正味財産の部			
イベント事業費		662,667		前期繰越正味財産		11,249	
業務委託費		200,000		当期正味財産増減額		-11,249	
諸謝金 (講師・看護師・学生)		124,392		正味財産合計			0
募集経費		340,612		負債及び正味財産合計			49,000
印刷製本		183,600					
旅費交通費		259,000					
保険料		117,724					
雑費		139,762	1,927,957				
2 管理費							
(1) 人件費		0	0				
(2) その他の経費							
租税公課		0					
交際費		35,338					
旅費交通費		112,360					
通信費・運搬費		13,250					
消耗品		128,833					
支払手数料		4,320					
雑費		11,810	305,911				
経常費用合計				2,233,868			
当期正味財産増減額				11,249			
前期繰越正味財産額				11,249			
次期繰越正味財産額				0			

## ご寄付一覧

寄付金(個人)						寄付金(団体)		助成金			
氏名	金額	氏名	金額	団体名	金額	団体名	金額				
大西 彰夫	30,000	荒井 美香三	10,000	家田 和良	2,000	古川 昭一	20,000	(株) 鳥羽ヤンマー	20,000	全日本船舶職員協会	150,000
西濱 卓己	10,000	金田 護	10,000	松浦 肇	1,000	岩本有生	10,000	(江崎隆夫)		日本中小型造船工業会	108,000
小甲 和己	20,000	鈴木 晴敏	1,000	山下 文徳	10,000	小木曾 順務	9,000	テクノマリン (株)	50,000	日本海事センター	500,000
菅沼 延之	50,000	小山 進夫	1,000	徳島 博	10,000	周藤 壮一	6,000	(山口秀)		中部海事広報協会	60,000
長谷川 真佐雄	10,000	中村 映	1,000	水野 正治	10,000	井上 通彦	19,000	「明るい社会づくりの会」	30,000	全日本海員組合	400,000
佐藤 善喜	3,000	神子 巧	1,000	三村 徳成	10,000	川口 心也	5,000	(山田祥生)		鳥羽商船同窓会	200,000
柴原 美満	5,000	杉岡 禎行	1,000	山下 文一	10,000	三井健次	10,000			同 伊勢志摩支部	55,600
山田 猛敏	10,000	藤田 稔彦	50,000	畑内 康孝	10,000	榎 辰幸	10,000				
毛利 純一	2,000	大槻 寛司	5,000	長谷川 秀文	2,000	会員有志	18,000				
井上 民規	2,000										
						100,000		1,473,600			

※1: /は代仕工賃金が事業費者に支払、※2: 見込

## 10. 2015年度 活動計画

---

2015年度の活動は以下のように計画しています。

### 第1回イベント 鳥羽商船高専の練習船に乗って造船所見学

鳥羽商船高専の練習船「鳥羽丸」に乗船し、伊勢湾航海中は船橋見学・船の設備、構造、機関等のお話・ロープワーク、等の体験学習。津市JMU造船所の見学。募集人員50名+ボランティア。過去6回実施経験あり。

■ 場所/伊勢湾及び津市。7月下旬に予定（活動に際しての協力:鳥羽商船高専並びにJMU）

### 第2回イベント 伊勢湾フェリーに乗って、伊良湖水道の見学と渥美半島の自然観察

伊勢湾フェリーに乗って、乗船中は船橋でその様子を見学し、伊良湖岬では伊勢湾マーチスを見学し、渥美半島の自然をガイドボランティアと共に観察する。募集人員100名+ボランティア。

■ 場所/鳥羽～伊良湖岬・渥美半島。8月下旬に予定（活動に際しての協力:伊勢湾フェリー、伊勢湾マーチス、東三河自然ガイド）

### 第3回イベント 水産研究所の「あさま」に乗って、海洋環境を学ぶ

鳥羽からバスで浜島に移動し、三重県水産研究所の「あさま」に乗船、海洋観測を見学し、研究所内の施設も見学する。募集人員50名+ボランティア。

■ 場所/鳥羽～浜島（水産研究所）英虞湾9月下旬に予定（活動に際しての協力:三重県水産研究所）

### 第4回イベント もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講義を聞き、施設を借りて操船シミュレーターで模擬操船体験をする。他にコンピューター・プログラム・ロボットなどの講義を聞き・ロボットの見学、大型機関の発停を体験する。募集人員50名+ボランティア。

■ 場所/鳥羽市国立鳥羽商船高等専門学校校内12月下旬に予定（活動に際しての協力:鳥羽商船高専）

年間4回のイベントを計画し、国立鳥羽商船高等専門学校・国土交通省中部運輸局・近隣市町自治体（鳥羽市・伊勢市・志摩市・松阪市・玉城町・明和町・南伊勢町・多気町・度会町）及び近隣市町教育委員会（鳥羽市教育委員会・伊勢市教育委員会・志摩市教育委員会・松阪市教育委員会・玉城町教育委員会・明和町教育委員会・南伊勢町教育委員会・多気町教育委員会・度会町教育委員会）等の後援を得て参加者募集を行う。国立鳥羽商船高等専門学校の練習船「鳥羽丸」学校施設の利用等全面的な協力、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、鳥羽商船同窓会の後援を得て事業を実施したいと考えています。助成に関しては、全日本船舶職員協会、日本中小型造船工業会、日本海事センター、全日本海員組合、日本海事広報協会からの助成を期待しています。

## 11.主催者の感想・反省

「NPO法人故郷の海を愛する会」として2013年に三重県の認証を得て、地域(主に三重県の中南勢地区)の小中学生にもっと船の事、海の事を知ってもらおうと活動しています。任意団体であった「故郷の海を愛する会」の活動開始から数えると2014年度で6年となりました。おかげさまで、2014年度は助成や支援をして下さる団体が増え、正会員・賛助会員も約100名となり、活動回数も当初計画通りの5回を実施することができました。

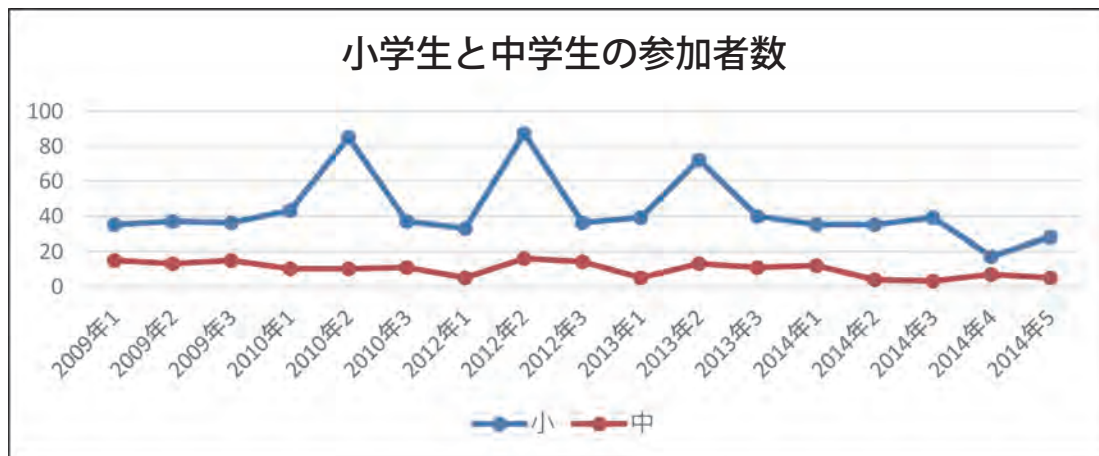
### 感想とか反省など

#### 1.安全・安心確保

従来同様、活動の際に、各班には2~3名のボランティアを張り付けし、安全・安心の確保に努めました。又、活動その①②③では看護師を手配し、不測の事態に備えました。船酔いになった参加者がいましたが、適切な対応により、無事に活動を終えることができています。今年の5回の活動を無事故で終えられたこと、なによりでした。今後とも、夏の活動の際には特に、熱中病などにも注意し、帽子をかぶらせる事、十分な飲み物を用意すること等に注意して活動します。

#### 2.募集・応募

1) 参加者の推移 下のグラフは6年間の活動ごとの小学生と中学生別の活動参加者数の変化を示しています。



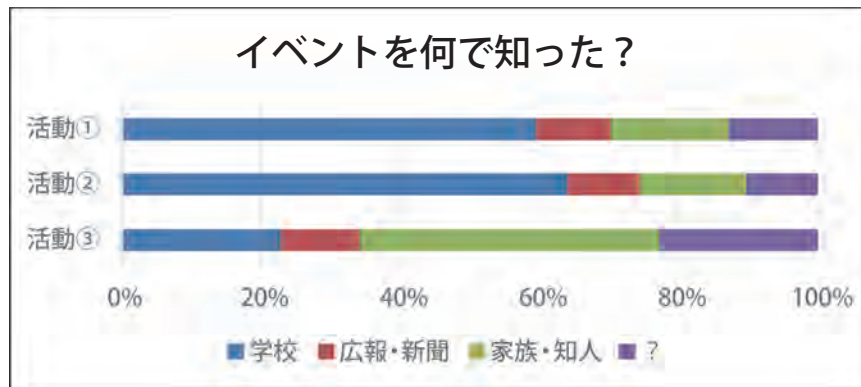
小学生の参加者については、2014年度の活動③までは変化なく、活動④⑤では減少しました。中学生の参加者については、2014年度の活動①までは変化なく、その後は減少したように見受けられます。保護者は従来、ボランティアとして数名の参加がありました。今年の活動その②ではボランティアでない保護者にもヨット体験をしてもらいました。その③では一緒に高速艇に乗り、神島一周を子供と楽しんでもらいました。

#### 2) ポスター・リーフレットの配布など

従来は年間の活動が3回あり、その①、②の活動の参加者募集を一度にまとめ、地域の小中学校にポスターの配布と小学5・6年生、全中学生を対象にリーフレットの配布を行っていました。



今年度は年間の活動が5回あり、その①、②では従来通りのポスター・リーフレットの配布としました。その③、④では小中学校へのポスターの配布は従来通りとするも、リーフレットは希望者のみとして、配布枚数を経費削減の為に大幅に削減しました。



残念ですが、活動参加者の実績とアンケートの結果等から、リーフレット配布の削減は応募者の減少につながったように思います。費用がかかっても対象とする子供たち全員にリーフレットを配布するのは応募者集めには必要であると反省しています。

2014年度の配布対象の全中学生は約12000人、小学5・6年生は約8000人ですが、中学生の参加者の実績は約25～15%、小学生が約75～85%となっています。2015年度はポスターの配布は従来通りとするも、リーフレットは配布対象を見直し、代案として小学4～6年生、中学1,2年生とし、対象者全員に配布を考えています。募集対象地域に津市を加えることも考えています。

### 3) 広報誌、新聞など

各市町の広報誌への募集記事掲載をお願いしました。6つの市町で掲載して頂きました。おかげさまで、アンケート結果でもわかりますが、イベントを広報誌で知った参加者が何人もいました。2015年度も同様に各市町に掲載をお願いする事とします。ただ、2014年度は初めてのことであり、記事提出の締切に間に合わなかった事もありましたので、2015年度はそれぞれの活動に間に合うよう記事掲載をお願いする事とします。

中部運輸局に後援をお願いし、活動紹介のプレスリリースをして頂きました。それにより、新聞やテレビ(NHK)で募集のニュースを流してもらいました。これらによりイベントを知り、参加した人もいます。2015年度も継続してほしいと考えています。

### 4) 大型商業施設のイオン明和店で

故郷の海を愛する会の活動の紹介と募集活動を三重県の中南勢地区最大のショッピングモールがあるイオン明和店で7月と10月に行いました。本件、別途その他の活動として紹介していますので参照ください。

## 3. 活動内容

### 活動その①

鳥羽商船高専の協力を得て、練習船鳥羽丸に乗り、津市のJMU造船所に行きました。子供たちに人気があり、毎年定例の活動になっています。動いている船に乗ることはわくわくする体験のようです。又、造船所で建造中の大型船を見ることも子供たちには衝撃のようです。これらはきっと

彼らの記憶に残ることでしょう。

#### 活動その②

海の上を自然の風を利用して走るヨットを体験してもらいたくて計画しました。体の不自由な人、高齢者や子供たちも安心して乗れる沈しないヨットとの事でした。アンケートで、何が楽しかったか?の問いには、「ヨットを操縦する事」と多くが答えました。子供たちのワクワクしながら操縦している顔が浮かびます。

#### 活動その③

鳥羽市の離島、神島に高速艇で行きました。当初は定期連絡船で行くことを計画していましたが、当日は鳥羽市の市民運動会が予定されていて混雑が予想されたこと、長い乗船は船酔いすることが危惧されること、などからチャーター便を用意しての活動となりました。希望する保護者には実費¥3000負担で参加してもらいました。従来は子供たちだけの活動でしたが、今回参加した保護者には親子一緒に活動ができたこと喜んでもらえました。

#### 活動その④

従来も鳥羽商船高専の海学祭(文化祭)に合わせ、来場者を対象に「近藤真琴展」を実施していましたが、今回は小中学生を対象に「近藤真琴」を知ってもらおうと計画しました。しかし、近藤真琴の名前がほとんど知られていないせいか、応募者数は芳しくありませんでした。子供たちの写真コンテストは初めて計画しました。

#### 活動その⑤

年末に商船学校で船や海の話聞き、学校の設備や学生の作品を見学・体験しました。同様の時期に毎年実施しています。講演は毎回3名の講師をお願いしています。今年は三重県水産研究所の方の話が子供たちは大変興味を持ったようでした。アンケートでは、びっくりした事として、「アサリが赤潮を綺麗にすること」が一番でした。商船学校に入学したいか?との問いには、14名が「はい」と答えてくれました。外国航路の船員になりたいですか?の問いには、4名のみが「はい」でした。

### 4.班分け

私たちは子供達が初めて会った人と仲良く話をして、友達になる機会を作りたいと考えています。子供達のアンケートでも、「活動を通じて新しい友達が出来た」とあります。嬉しいですね。班分けについて、「友達と一緒に活動したかったのに班が分けられた」と残念がる子供もいます。せっかくの機会なので、知らない人と積極的に話をして友達になってほしいと思っています。

### 5.その他

今年は助成して頂いている団体からボランティア参加がありました。その①では全日本海員組合から1名、その③では日本海事広報協会から2名、その⑤では日本中小型造船工業会から1名の参加がありました。我々の活動を知ってもらう良い機会だったと思います。

2014年度は新たにセイラビリティ伊勢と協力して活動することができました。今後とも子供たちが

ヨットに親しみながら海や船を知る活動を一緒に続けたいと考えています。又、南勢海洋少年団は毎回多くの団員(子供と大人)が参加してくれました。2015年度も同様の参加をお願いしたいと思っています。何か一緒に協力して活動がしたいですね。

## 終わりに

資金提供・配布資料提供・募集広報支援・場所人員提供など本活動に関し以下の団体、会社、学校に多大なるご協力をいただきました。ありがとうございました。

- ・日本海事センター
- ・全日本海員組合
- ・日本中小型造船工業会
- ・全日本船舶職員協会
- ・日本海事広報協会、中部海事広報協会
- ・日本船主協会
- ・中部運輸局、三重運輸支局鳥羽海事事務所
- ・伊勢市・鳥羽市・志摩市・松阪市・明和町・玉城町・多気町・度会町・南伊勢町、各市町教育委員会、各小中学校
- ・鳥羽海上保安部、中部空港海上保安基地
- ・三重県水産研究所
- ・JMU津造船所
- ・伊勢湾フェリー株式会社
- ・セイラビリティ伊勢
- ・大湊町振興会
- ・イオン明和店
- ・鳥羽ガイドボランティアの会
- ・鳥羽商工会議所
- ・鳥羽市観光協会
- ・鳥羽商船高等専門学校
- ・鳥羽商船同窓会、鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部

今後とも継続して同様の活動を行いたいと考えていますので、よろしく申し上げます。

以上

(2015年1月最終報告として作成 S.K)



## NPO法人 故郷の海を愛する会

三重県鳥羽市鳥羽三丁目31番37号

Tel 0599-25-8045 Fax 0599-25-8128

<http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>